

# 眺望、新緑楽しむ

「第5回恋人の聖地・内灘ロ

マンチックウオーク」医師・看護師とみんなで歩こう」(本社、テレビ金沢、北陸放送後援)

は18日、町役場を発着点にした3コースで行われた。参加者約500人は河北潟、日本海の眺望や新緑を楽しみながら、爽やかな汗を流した。

コースは12キロの「まるごと」、7キロの「アカシア」に加え、親子連れ向けに4キロの「ふれあい」が新設された。青空の下、参加者は金沢医科大学の医師らと内灘大橋や林帯遊歩道などを巡った。

## 内灘ロマンチックウオーク 金沢医科大学医師らと散策



津幡署の山崎潔署長らは反射材などをPRするTシャツを着て交通安全や防犯を呼び掛けた。開会式では中村進町ウオーキ

ング協会長が開会宣言し、川口克則町長、竹越襄<sup>のり</sup>金沢医科大学理事長があいさつ。竹越理事長は「ふれあい」コースに参加した。町役場民ホールでは金沢医科大と連携したふれあい健康フェアが行われた。

青空の下、内灘大橋を歩く  
参加者  
—内灘町内